



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

Eメール koichiyasui@yahoo.co.jp

人の身が大事か、わが身が大事か 人もわが身もみな人

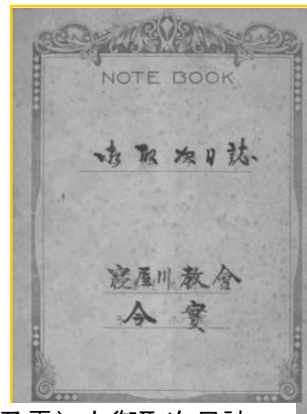
81年前の昭和20年8月15日は終戦の日。大都市では焼夷弾などにより空襲被害を受け、沖縄でも民間人が多数亡くなり、広島、長崎に原爆が落とされ、終戦となりました。この戦争では310万人もの人が亡くなっています。

この戦争の犠牲者の一人に、^{いまみのる}今實師がおられます。当教会を開かれた初代教会長今豊吉師の次男で、教義講究所（現金光教学院）を卒業され、お道の教師となって御用をされている中で、軍隊から召集令状が来て、戦場に赴かれ、昭和17年8月25日に戦死されました。享年22歳の若さでした。

三代教会長である私の母、安井美代子師の弟で、初代の後を継いで御用に立たれる立場の方であり、私の父、安井宗男師は、当時、金光教天満教会の在籍教師という立場にありました。後継すべき人が亡くなられたために、父が天満教会会長森田留吉師のお許しを得て、一旦は安井家に嫁いでいた母と共に、寝屋川教会に入り、父が寝屋川教会二代教会長として、御用に立たせて頂くことになったのです。母は生前よく、「實ちゃんがいたら、私たちはここで生活してへんよ」と言っていました。その言葉の裏には、『今、平穩に生活できるのも、實さんが、戦地に赴き、私たちのために命を懸け、盾となり、守ってくださったおかげであり、それを忘れてはいかん』という思いがあり、それを伝えたかったのだと思います。

戦争の犠牲になって、亡くなっていかれた一人ひとり背後には、語り尽くせぬ悲しみや思い出があつてのことと思います。

その悲惨な戦争が、今もなお世界各地で行われています。ロシアによるウクライナ侵攻で4年半余り、戦争状態が続いています。他にも中東での紛争が続き、建物が破壊され、食料が届かず、飢餓状態の人たちが多数おられます。また、ペルシャ湾での紛争が、石油やガソリンの



今實師（諡号：今實彦乃霊）と御取次日誌

高騰となったりと、私たちの身の回りに大きな影響を与え続けています。

人はなぜ戦争をするのでしょうか。「人命は地球より重い」という言葉を何度も聞いたことがあります。敵対する人の命は、命ではないのでしょうか。アメリカ建国250年の祝祭日に、イランではアメリカとイスラエルの共同作戦で暗殺された最高指導者ハメネイ氏の葬送を大々的に行っていました。アメリカファーストとトランプ大統領は声高に言うのですが、それがこういう事態を起こしている一因ではないかと残念に思えてなりません。

「自分が一番大事」、「自分は間違っていない」との思い込みが、他との不和を起し、平和を踏みにじり、さらに進めば、戦争、殺戮へと導き、尊いはずの人命をものともしない、そんな苦難の道へ人々を追いつめてしまします。世界の現状をみて、そのように思われてなりません。

神様からご覧になれば人もわが身も、共に可愛い氏子であり、甲乙つけがたい存在です。「人の身が大事か、わが身が大事か、人もわが身もみな人」であり、命の大切さに変わりはないと金光教祖は教えられます。命の尊さに甲乙をつけず、共にいたわりあい、助け合うことこそが、平和の礎だと教えられるのです。まずは、家庭という身近なところから周囲へと、祈りをもってその実践に努めたく存じます。

（教会長）

「我を救える教祖」

～高橋正雄師が受けられた信心のおかげ～

この道の先覚の一人に、高橋正雄師がおられます。我よしとする心や、我情我欲が不和を招き、争いを起こし、難儀のもととなっている。どうすれば、助かっていけるのかと悩みぬかれて、金光教祖・生神金光大神様に救いを求められ、助けられたご自身の体験を次のように記されています。

○

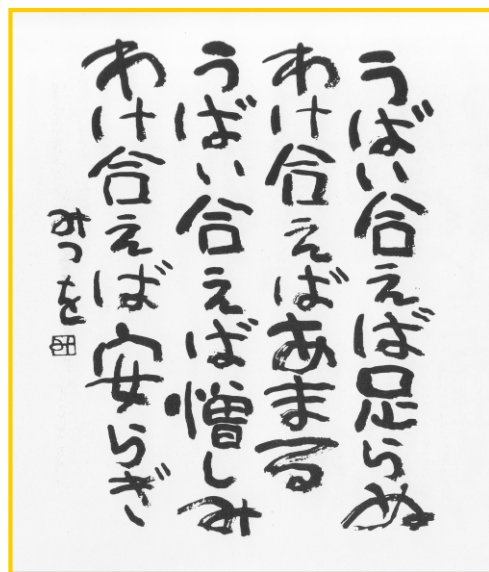
生神金光大神様、……この世で生きていこうとしますれば、どうしても誰かの欲のかかったものを取ってきて、それを生活の材料にしなければなりません。その為には争わねばなりません。駆引き疑いも偽りも、みなせねばなりません。浅ましきことでありますが、致し方ありません。かくてあなたの御教えをそのままに守ろうとしますと、自ら生きようとするを絶対に止めねばなりません。

……生神金光大神様、あなたは御教えの通りになさいました。米俵を軒下に出して積んで、誰でも取っていくに任せられました。門の戸を開け放し、戸を閉めず、いつだれが入って、どんなことをしてもよろしいという御心持ちを示されました。ご自身のためには、お使いなさぬようにしてしまわれました。そうして御教えをお立てになりました。ご自身がなされたことを、お話にお伝え下されました。それがそのまま、御教えとなりました。

……そうして、あなたが、道というものを^{いと}お示し下さいました。真を欲し、慾を厭うものに、こんなにしていくのだぞということを明瞭にして下さいましたから、どんなに強められ、どんなに望みを失わないで辿らしてもろうておるかしれません……。『随感録』

○

このような高橋正雄先生の心境を思うとき、相田みつを氏の次のような詩が思い浮かんできます。



大西^{ひで}秀様は、教祖様の御教えを次のように伝えておられます。よく味わい、共におかげをうけましょう。

■ 理解2・大西秀の伝え・5

「人にはできるだけのことをしてあげ、人に物をやりたくてしかたがないという心を持ち、自分だけよいことをしたいというような心を持つな」と教えられ、また、「自分が困らず、さしあたりぜひ入用でなければ、何を人にやっても、人に食わせてもよい」と毎日のように言われ、またあの話かと思われるほど話しておられた。

■ 理解2・大西秀の伝え・7

「どんなものでも、よい物は、人に融通してやれば人が喜ぶ。それで徳を受ける。人にやるのでも、自分により物を残しておくようなことではいけない。人に物をやる時には、たとえ前かけやるのでも、よい方を人にやり、悪い方を自分がつかうようにせよ」

■ 理解2・大西秀の伝え・8

「たとえ人にたたかれても、けっして人をたたくのではないぞ。人に難儀をさすな。よい心にならせてもらえばありがたいと思い、すれ違った人でも拝んでやれ。できれば、人を助ければよい」

生きることにすばらしい

信心は真の心で

親に孝 人に実意丁寧

家業を大切に

神仏を粗末にしないように

理解Ⅱ 斎藤重右衛門の伝え

「信心」「真」「親孝行」「実意」「丁寧」「家業」「神仏」といった言葉は、現代では、あまり目に耳にすることのない、いわゆる死語になりつつあります。

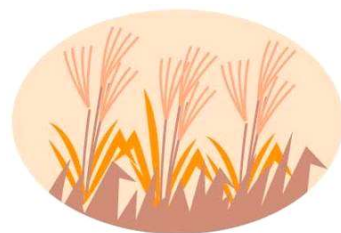
近年、重きを置かれてきた言葉としては、「自由」「平等」「便利」「合理性」などがありますが、「自己中」という言葉がはやったほど、自己中心で、わがまま勝手な人が増えてきています。特に時代社会の世相を映すと言われる、青少年、子供たちの言動は、凶悪犯罪の低年齢化、引きこもりなど、精神的に悩んだ人間社会の現状を

訴えています。神棚、仏壇もないという家も多く、親や祖父母の手を合わす姿を見ることもできない子供たちがほとんどではないでしょうか。

普段から目に見えないけれども、何か尊いものが存在するというのが、神仏に手を合わす姿を通して、伝えられてきたように思われます。

生命という、目に見えないけれども、尊く大切なもの、その大切さを身につけるためにも、そして、自分自身を大切にするためにも、「真」「親孝行」「実意」「丁寧」「神仏」といった、タンスにしまいこんだ言葉やその意義を、改めて見直し、大切にしていける必要があるようです。

(天王寺教会発行『生きることにすばらしい』第2集抜粋)



秋季霊祭のご案内

残暑はまだまだ厳しいものの朝夕の涼しさに秋の訪れを感じさせるこの頃です。

まもなくお彼岸を迎えます。亡くなられた御霊様を偲び、感謝の真心でご祭事をお仕えさせて頂きたく存じます。

ご家族お揃いで繰合せ参拝され、感謝の玉串をお供えされますよう、ご案内申し上げます。

○

・前日の御用

九月二十二日(火・祝)

九時〜十一時半

※墓前祭は十時半より

・当日のご祭事

九月二十三日(水・祝)

午後二時より祭典奉仕



9月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	火	月頭祈願祭・14時		16	水		扇町教会宣教 14時
2	水			17	木		
3	木			18	金		
4	金		教会移転・契約 11時	19	土		
5	土		自治会管外研修受付 18時	20	日		加藤渥子様 50日祭 加藤俊朗様 10年祭
6	日			21	月		
7	月			22	火	秋季霊祭前日御用・9時 墓前祭・10時半	
8	火			23	水	秋季霊祭・14時	
9	水			24	木		
10	木			25	金		ボランティア部会 10時
11	金		教会移転先・契約 13時30分	26	土		自治会管外研修 8時45分
12	土	月例金光大神祭 14時・霊祭打合せ		27	日		
13	日		大友教会宣教 10時半	28	月		みのり編集会議 10時40分
14	月		福祉委員資料作り 13時	29	火		
15	火		西校区福祉委員会 10時	30	水		

9月の霊神様 (内は帰幽年月日)

池端留吉翁乃霊(1966・昭和41年9月4日)

村上タツ姫乃霊(1973・昭和48年9月5日)

竹本シズ姫乃霊(1993・平成5年9月15日)

竹田光男彦乃霊(2007・平成19年9月17日)

宮本清彦乃霊(1991・平成3年9月19日)

加藤俊朗彦乃霊(2017・平成29年9月20日)

柴田伊三郎彦乃霊(1972・昭和47年9月22日)

9月のお誕生

安井佑飛様、永田兼治様、田村晃睦様、永田延妃様、松ヶ角暖真様、

永田雅昭様、増満久美様、上田原輝様、三浦真理子様、田島聡真様、

古川広道様、亀口政利様、角谷真子様 村瀬淳一郎様

お誕生日おめでとうございます！

